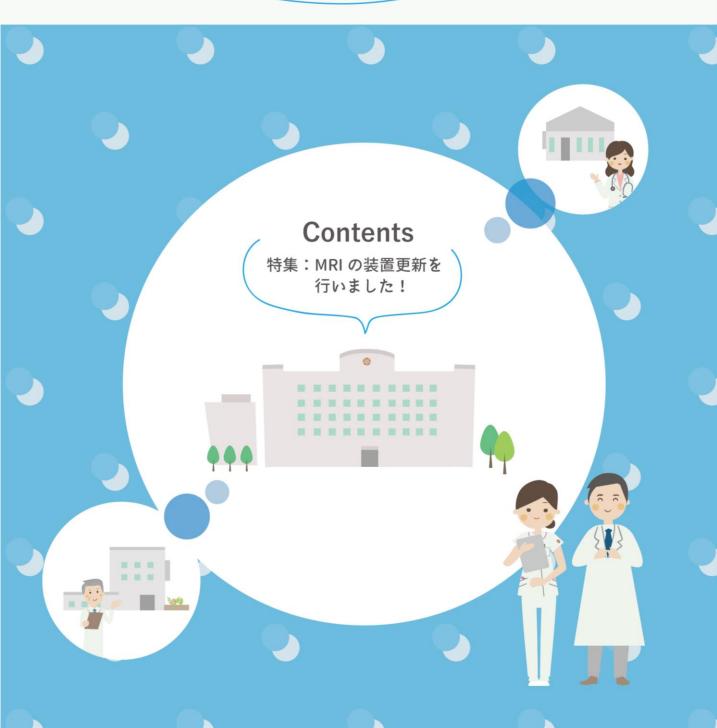
地域の皆さまとつなぐ医療の輪

連携だより

No. 35







連携医の皆さまへ 明けまして おめでとうございます

> 院長 野間 重孝

Shigetaka Noma

連携医の先生方には、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご 高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も宜しくお願い致します。

さて昨年を振り返りますと、文字通り新型コロナウイルスに始まってコロナウイルスに終わった1年だったといえるように思います。栃木県も例外になく、年末に向けた中で第3波と考えられる感染者数の急増が認められる事態となりました。

当院は、第3次救命救急病院であり、地域の救命救急に責任を持たなければならない立場にあります。当然のことですが、心筋梗塞や脳卒中などの救急疾患はコロナウイルス感染症の流行によって発生率が変わるわけではありません。何としても通常診療と両立をさせなければならないと考えております。

昨年10月には、地域中核病院として救命医療の質的確保を図るため、ドクターカーの運行を開始しました。医師・看護師・臨床工学技士からなるチームが、病院前救急診療および重症患者の搬送、ECMO患者の搬送を一括して行い、従来のドクターカー業務の枠を越え、移動型救命救急センターの概念を取り入れた新しい形のドクターカー事業に取り組んでおります。出動件数は月平均61.5件で、順調に運行しております。

最後になりますが、当院といたしましては、国難ともいえる厳しい状況の中、未知のウイルスに対し職員一丸となり取り組み、今後も地域医療を維持するために連携医の先生方や、地域の医療機関および福祉関連施設の皆様としっかり連携しながら、最善を尽くしていく所存であります。 今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

連携医の皆さまが今後ますますご活躍されることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



循環器内科 心不全WEB勉強会開催のご報告

先生方には、日頃より当院の医療活動へのご支援・ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。 さて、令和2年12月3日に開催した心不全WEB勉強会についてお知らせいたします。



12月3日、循環器内科が主催し、地域に向けた「心不全多職種WE B勉強会」を開催いたしました。当勉強会は、多職種を対象とし、心不全診療の向上を目的に企画しており、9月のWEB開催に引き続き、今回は3回目の開催です。当日は、地域の医療・介護関係者等133名が参加しました。

今回は、当院のOBでもある仲嶋医院の仲嶋秀文先生に座長をお願いし、初めに循環器内科の上野耕嗣主任診療科長より「かかりつけ医による併存症の管理」と題して講演頂きました。

続けて、管理栄養士の阿久津貴子課長より「心不全(リスク)患者の栄養指導について、石川恭平理学療法士より心不全に対する運動療法について、それぞれお話しがありました。

当院では、地域の先生方や医療機関と心不全診療連携ネットワークを構築し、「心不全を地域で診る」の考え方をもとに、「地域チーム医療」を推進しており、この一環として今後もこの心不全の勉強会を開催していく予定です。



第4回心不全WEB勉強会

- ●日時:令和3年3月18日(木)19時~
- ●演者(予定)
 - · 循環器内科 主任診療科長 上野耕嗣
 - · MSW 澤村 謙太 ···他
- ※詳細が決まり次第、改めてご案内状を郵送いたします。

一般外来に関するお知らせ【令和3年1月からの土曜日診療体制】

令和3年1月からの土曜の診療体制についてお知らせいたします。当院ではこれまで、毎週土曜日の午前中に外来診療を行って参りましたが、令和3年1月より下記の通り、第2土曜日の診療を休診とさせていただくことといたしました。皆様にはご不便とご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、救急医療につきましては、従前どおり24時間体制で対応させていただきます。

■土曜日外来診療体制の変更点について

現在 土曜日 午前診療

令和3年1月以降 第1·3·4·5土曜日 午前診療

■皮膚科 令和3年1月からの土曜日診療体制

上記の土曜日診療体制変更に伴い、皮膚科の診療日が以下の通り変更となります。

第2・4土曜日(紹介・予約のみ)

現在



令和3年1月以降

第1・3土曜日(紹介・予約のみ)

MRI 装置更新

MAGNETOM Vida with BioMatrix 導入

- 磁気共鳴画像 Magnetic Resonance Imaging 3T(テスラ)装置を導入しました -

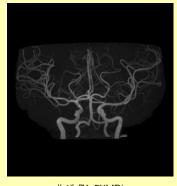
当院では、以前より3T(テスラ)装置1台を運用しておりましたが、さらに1台を更新し3T(テスラ)装置2台、 1.5T(テスラ)装置2台を用いて検査を行わせていただきます。



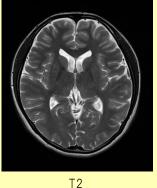
今回導入MAGNETOM Vida with Bio Matrix 3T(テスラ)について

ドイツSIEMEN社装置であり、研究用MRI機に次ぐハイエンドモデルと位置付けの装置になります。撮像技術では 高速撮像と呼ばれる最新技術で、SMSと呼ばれる複数枚同時励起撮像、compressed sensing(CS)圧縮セン シング技術による高速、高分解能化にも利用できる装置になります。頭部MRAをはじめ、MRCPなど様々な領域 で臨床的に有用であり、検査時間が短くなることでの患者様への負担軽減が期待できます。またオープンボアと 呼ばれる寝台開口部径が70cmと大きく、従来の装置より検査時の圧迫感が低減され、より良い環境で検査を 受けていただけます。

Clinical Images



非造影 脳MRI



FLAIR fatsat



非造影下肢MRA

放射線科専門医より

連携医の先生方には、常日頃より当院の業務にご理解ご協力頂き、誠に有難うございます。 さて、この度当院は、新たに2台目の3T(テスラ)装置を導入いたしました。

3T(テスラ)装置は、従来の1.5T(テスラ)装置に比べて、信号とノイズの比であるS/N比が約2倍になり、従来あまりよく見えなかった細かいところや、手、足もきれいな画像が得られるようになります。また、血管を選択的に抽出するMRAにおいて、画質が著明に向上し、1.5T(テスラ)装置よりさらにきれいで細かい血管まで検出できるようになるなど、多くの特徴がございます。

当院の病診連携枠での検査は、先生方のご依頼に合わせ、当科の8名の放射線科医(診断専門医5名、専門医2名)が最適な検査方法を指示しております。また放射線専門医が翌日までにレポートを作成し、数日以内にお届けできるよう心がけております。

MRIの他、当院では、CT·RI(核医学検査)・PET-CTなど種々の検査をお受けしております。今後とも連携医の先生方、及び地域の患者様のお役に立てるよう努力する所存でございます。

ご留意いただきたい点について

地域連携課を通しての検査予約に関しましては、基本的に3T(テスラ)装置を用いて検査を行う予定でおりますが、検査内容や患者様の体内金属などの条件により、1.5T(テスラ)装置を用いて検査を行う場合もあります。

検査のご紹介について

地域連携課では、先生方から緊急紹介や検査予約のご連絡を頂く際、できるだけお待たせすることのないように、電話回線を分けてご用意しております。検査のご紹介の際は、下記検査専用電話番号へおかけいただきますようお願いいたします。

○ ご紹介から予約までの流れ

MRをはじめ、CT、RI、PET/CT、内視鏡、 エコー各種検査の予約は地域連携課にて お電話で予約を承っております。



予約票を当院よりFAX致します。

地域連携課



- TEL【直通】028-626-5674
- FAX 【直通】028-626-5795
- ◎ 月曜日~金曜日 / 9:00 ~ 17:00 土曜日 / 9:00 ~ 12:00

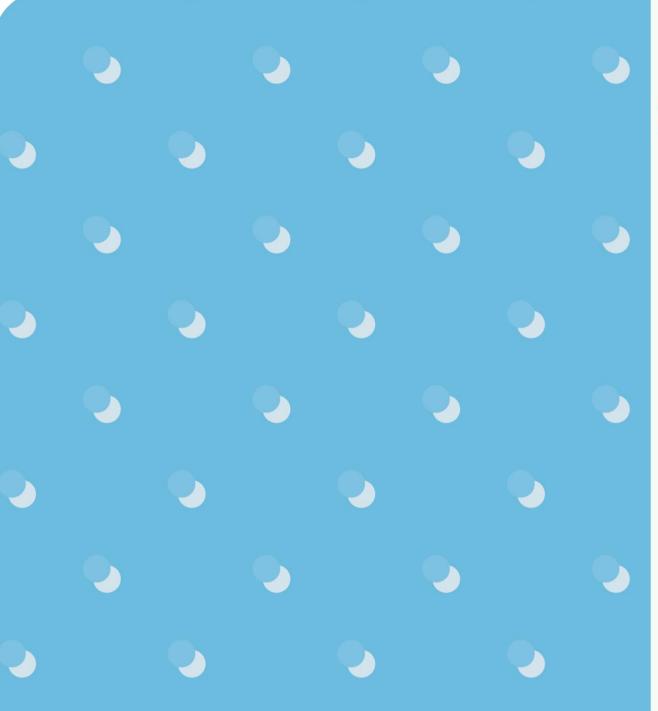
✓ 筆者紹介



診療部 放射線科 主任診療科長 たにむら けいいち 谷村 慶一

【専門医認定等】

専門医 認定医等 日本医学放射線学会 診断専門医 日本IVR学会専門医 日本核医学会 PET核医学認定医 検診マンモグラフィー読影認定医



● 患者さんのご紹介は、下記までご連絡ください

地域連携課

◎ 月曜日~金曜日:午前9時~午後5時

土曜日:午前9時~午後12時

TEL: 028-626-5595

TEL: 028-626-5674 (画像連携用)

屆 FAX: 028-626-5795 (地域連携課直通)

oxtimes E-mail : renkei@saimiya.com

救急外来(時間外、日·祝日)

TEL: 028-626-5500







